

タイの2大学からの表敬訪問について

7月29日(水)にタマサート大学(タイ)の Chaweewan Denpaiboon 講師と Pawinee Lamtrakul 講師およびチェンマイ大学(タイ)の Shummadtaya Umpiga 講師の表敬訪問を受けました。タマサート大学からは2名の学生が同行いたしました。なお、Umpiga 講師は本学大学院工学系研究科博士後期課程の修了生です。皆さんは平成27年度佐賀大学国際研究集会開催支援事業として開催される「環アジア国際セミナー-日本・韓国・タイ(Asian Rim International Seminar 2015- Japan/Korea/Thailand)」講師を務めるために来学されました。本セミナーは7月30日~8月3日にかけて佐賀県鹿島市浜町で開催されます。セミナーでは「グローバル社会における文化多様性と歴史的環境の保全活用」と題して3か国の都市と建築に関する講義がなされた後、鹿島市の肥前浜宿の歴史的町並みを形成する建物を題材に、地域の歴史的環境を継承させる提案を行うこととなっています。3か国の総勢30名近い学部4年生とMとDの大学院生が混合してチームを形成し、グループワークで提案発表を行います。4日間参加学生は英語を共通言語として調査と作業を行い提案発表に挑みます。講評時の応答を含め、国際性を醸成する絶好の機会であると言えます。



前列左より、Umpiga 講師、三島教授、石橋研究科長、Denpaiboon 講師、Lamtrakul 講師、後列左より、有馬教授、タマサート大学の D 学生、平瀬准教授、タマサート大学の学生

